

八王子市立鎌水小学校「平成19年度授業改善推進プラン」

【八王子市教育委員会教育目標】

「あふれる元気」 健康な心身・活力
「かがやく心」 豊かな知性と感性・個性
「仲間とともに」 協調性・社会性
「はばたけ未来へ」 意欲・積極性
の育成に向けた教育を推進する。

[教育目標]

本気... 本気で考える子 (知)
勇気... 勇気をもって行動できる子 (徳)
元気... 元気で心豊かな子 (体)

1 地域の実態

2 地域・保護者の期待や願い

3 期待される児童像

《本校の現状》（「八王子市学力定着度調査」「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果から分析できること）

- 1、「八王子市学力定着度調査」（現5年生）では、国語と算数の2教科とも市の平均に満たない結果となった。児童が学力調査に不慣れなため、記入箇所での誤りがあったことも原因のひとつと考えられる。
- 2、内容をみると、国語では「書く」力が他に比べて弱い。算数では、基礎力よりも応用力に欠ける傾向がある。
- 3、同時に行われた「意識調査」では、「学びの基礎力」、「社会的実践力」とも市の平均を上まわった。
- 4、「児童・生徒の学力向上を図るための調査」（現6年生）では、国語で都の平均を0.1ポイント下まわったが、社会、算数、理科では、それぞれ0.3、1.4、0.2ポイント上まわる結果を得た。
- 5、各教科の内容をみると、国語では「話す・聞く」力がやや劣り、「読む」力がすぐれている。社会は、他に比べて、「我が国の食料生産」領域での成績がよい。算数では、「数量関係」に強く、「図形」に弱い傾向がみられる。理科は、「地球と宇宙」のできがよい。

《本年度本校における学力向上のための重点方針》

- 1、校内研究のテーマ「学ぶ意欲をもち、わかる・できる喜びを味わう児童の育成」に迫るために、全教科の学習で、児童の「学びあい活動」を組織する。
- 2、学力の向上を図る前提条件となる、児童が落ち着いて学習に取り組むことができる学級づくりに留意する。

(本年度の学力向上の具体策) (いつまでに、どの程度)

- 1、前年度までのモジュールを廃して、4月から算数の週授業時数を4 2/3時間から5時間に増やしたが、年間を通して、その効果を確かめる。
- 2、夏休みを利用して、5、6年児堂を対象にした3日間の算数教室、4、5、6年児堂の全員が水泳で25メートル以上泳げるようになることを目標にした4日間のカッパ教室に全教職員で取り組む。
- 3、校内での研究活動での成果を問う各学年1授業を学校内外に広く公開する。
- 4、児童が朝、登校して直後の約10分の時間を、朝読書などで有効に活用できないか年間を通して探る。
- 5、学校での学習効果を高めるために、家庭における児童の睡眠、食事、テレビ、ゲーム等についての生活習慣改善を、引き続き、児童と保護者にアピールする。

《学力向上の成果の検証及びその評価方法》

- 1、国、都、市の今年度「学力調査」結果を前年度までの比較分析する。
- 2、夏休み算数教室の効果を、事前の診断テストと2学期当初の診断テストと同内容の追跡調査の結果から探る。
- 3、公開授業については、参加者アンケートに記された内容を見る。
- 4、算数の授業時数増の効果については、学期毎の時数の総計を前年度までのと比較検討する。
- 5、児童の家庭での生活習慣にかかわる実態について、校内の生活指導全体会等で情報交換する。

教科等の現状と課題及び授業の改善点

(第1学年)

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	・音読、読書、国語が好きな児童が8～9割いる。進んで発表したり、相手に聞こえる声で話したりすることは自信がない児童もいる。したことや思ったこと等数行書くことができ、話の大体も8～9割の児童が捉えられる。平仮名の書き取りはほぼできる。	・国語だけでなく、全ての教科・領域で「話す」「書く」「音読」に取り組む。 ・共通体験を基にどう表現するか互いの工夫を取り入れると共に、書く機会を増やす。 ・文章を読み、わかったことや思ったことを書いたり話し合う機会を増やす。	音楽	・歌うこと、体を動かして表現することが好きな児童が多い。曲の気分や音楽の特徴を感じてのびのび表現しようとしている。鍵盤ハーモニカや楽器を演奏することが好きだが、指遣い、タンギングはまだ十分でない児童がいる。	・友達や学年で歌ったり表現したりして意欲を高める。 ・演奏する楽しさや達成感を十分に味わわせ基本的技能を身に付けられるようにする。
社会			図工	・不器用な児童が目立つ。 ・感じたことなどを模倣して表現できるが、独創性が乏しい。	・体全体の感覚や技能(手先を使って糊付けや粘土のひねりだし、はさみの使い方など)を働かせ、作成したもので、遊べるものを教材化する。 ・自分の表し方で表現できる教材を考え、与える。
算数	・計算問題を解いたり、ノートに書く作業等で、速い児童と時間がすごくかかる児童の差が大きい。	・基本的な内容をしっかり定着させるために、一人一人の児童の実態に沿って、細かく丁寧に指導を行う。 ・プリントやカードを使って、繰り返し学習を行うことで、計算力を高める。	家庭		
理科			体育	・体を動かすことが好きな児童が多い。 ・児童によって、出来る運動に偏りやばらつきが見られる。 ・遊びの経験が少ない。	・運動が苦手と考える児童も意欲的に学習が出来るように教材を工夫する。 ・基本の動きの運動量が多くなるように配慮する。
生活	・身近な動植物についての本での知識があるが、具体的体験に乏しい。・自然に関心を持っているが、表現の工夫において、十分でない児童がいる。	・みどり広場やビオトープや公園などの本校の豊かな自然環境を生かして、実際のものにたくさんふれさせることで、感動を与えられるようにする。	総合的な学習の時間		

その他(道徳・特別活動等)

- ・集会や行事などでの縦割り班活動をさらに充実させて、児童間の縦のつながりを深める。
- ・児童の心を揺さぶる教材での学習を通して、児童が自ら考え、実践するきっかけを多く与える。
- ・学習の中に友達の考えを聞いたり、話し合ったりする機会を多くもって、心豊かに学習できるようにする。

教科等の現状と課題及び授業の改善点

(第2学年)

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	一人一人の意見の発表や友達との意見交換の機会を増やし、話す力や聞く力を育てているところである。	一対一やグループでの発表を行うなど、発表の仕方を工夫し、伝え合う力を身につけさせたい。また、聞く力は、大事なところを聞き落とさないなど、ポイントを絞って指導していきたい。	音楽	一人一人の表現を大切にしながら達成感や連帯感を育てているところである。	・児童がより主体的に学習できるように学習内容を工夫する。 ・興味が持続するように調性やリズムを変えるなどの方法を工夫する。
社会			図工	良いアイデアや手本となる事を友達に教え合ったりする。話だけの説明では、創造したり、考えたりして取り組むのが苦手な児童もいる。	授業の導入時に、話の説明だけではなく、児童が視覚的に理解できるように、教師があらかじめお手本を作ったり、教材の提示をする方法を考える必要がある。
算数	少人数指導とクラス指導があり、学習の進度を調整して進めている。担任以外の教師の指導により、意欲的に取り組んでいる。達成感を感じる学習を進めている。繰り返し学習・個別指導を多く取り入れている。	個別指導のよりいっそうの充実を図る。教師集団の話し合いを大切に全体としての学力向上を図る。	家庭		
理科			体育	・苦手な子も参加できる授業を工夫する。自分の体を自在に動かせるようにする。	・学習カードの利用等を通して児童間同士の教え合い学習が出来るようにする。 ・基本の動きの運動量を多くする。
生活	地域のフィールドを活用した公園巡りや動植物を観察する学習を進める	緑広場やビオトープ等本校の自然環境を生かした教材の開発を進める。	総合的な学習の時間		

その他（道徳・特別活動等）

- ・実際の生活や学校での活動に即したことを題材とし、その中での問題点や疑問点などについて児童と向き合い、考える時間をもつ。
- ・この学習の中で、友達の考えを聞いたり話しあったりすることにより、様々な考えを認め合い、心豊かな学習が出来るようにする。
- ・児童が自分達の考えでより楽しく、仲良く生活できるよう、自発的に考え、行動できるように手助けしていく。

教科等の現状と課題及び授業の改善点

(第3学年)

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の音読や読書を積極的に行う児童が多い。 作文を書く力に個人差がある。 話す・聞く場面を授業の中に多く取り入れる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 読解力の充実にさらに努める。 短作文を書く機会を多くつくって、作文に対する抵抗を減らし、意欲と自信をもてるようにする。 話し合い活動を通して、話す・聞く力を育てる。 	音楽	<ul style="list-style-type: none"> リコーダーの基礎を復習を交え、一人ずつ演奏させている。 意欲喚起のため、教師の演奏を聞かせている。 	<ul style="list-style-type: none"> リコーダーは、一人ひとりの表現や発表を大切に、十分な復習で定着を図り達成感や連帯感を育む。 鑑賞と表現の一体化をさらに図り、想像力を養い、感性を磨く。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 興味・関心をもって、学習に取り組んだ。 地図の見方など、基礎的知識・技能の習得にやや難がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 新聞づくり等を通して、学習意欲を持続させていく。 地図を活用した学習の指導をさらに工夫する。 基礎的知識・技能を身につけさせる。 	図工	<ul style="list-style-type: none"> 表現したいものを作るための技術や道具の使いこなしができないために、制作に苦手意識を持つ児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 制作するための方法や描画の技術を具体的に指導し、楽しく個性的な表現ができるように、学習の内容と方法を工夫する。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 概ね、基礎学力は定着している。 プリント・ドリル等を通して、学習量を確保してきた。 一部の児童に対する個別対応・指導を授業の中に取り入れる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 一斉指導を工夫し、教材開発を進める。 少人数授業の利点を生かして、今まで以上に、個にきめ細かく配慮した指導を続けていく。 	家庭		
理科	<ul style="list-style-type: none"> 自然体験活動を通して、自然の事物現象に多く触れ合うようにする。 観察に必要な器具や用具を整備して観察をやる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然の事物現象を深く学習し、科学的な見方や考え方を養う。 観察に必要な器具や用具の正しい使い方を知り、一人一人が観察を自主的に行うことができるようにする。 	体育	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に運動できる教材の工夫をする。 基本的な動きの運動量を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> できることがはっきりわかり楽しく、自主的に運動に取り組めるようなカードを活用する。 友達と教え合い、助け合って技術が向上するような学習形態を取り入れる。
生活			総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> やよい会、聴覚障害者の人との交流をし、他者への理解を深める。 やり水の歴史について興味・関心を持たせながら調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流を通して、他者への理解を十分深め、実生活においても意識させるようにする。 取り組みの成果をまとめ、発表し自分の思いが伝えられるようにする。

その他（道徳・特別活動等）

- 道徳では、自分の生活や人との関わりについて十分考えさせ、互いに認め合える雰囲気や気持ちを育て、落ち着いた生活や学習ができるようにする。
- 友達の考えを聞いたり、自分の考えを述べたりして、話し合い活動を活発にする。話し合ったことを基に、全体で活動する機会を十分に体験させ、心豊かに学習できるようにする。

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	・説明文の学習では、問題に即した適切な読み取りが苦手である。 ・自分の気持ちをうまく表現できない子も中にはいる。	・学習に音読の機会を増やす。また、図書時間を活用し、いろいろな本に親しませる。 ・一人一人の意見の発表や友達との意見交換を通して、発表して良かったと思う機会を増やす。	音楽	個々においては、進んでリズム楽器を選んできて楽しく演奏したり、歌ったりすることができる。リコーダーでは、技術面での差が大きい。	身近な友だちの表現を鑑賞し合ったりしながら、かかわりを大切にしたり、音楽の良さを感じたりできるように、学習過程に重点をおく。個に応じた基礎的な指導の充実を計り、技術面での差を少なくしていく。
社会	・学習中、子どもが考え解決していく場面があまり設定できなかった。 ・問題解決のための資料を児童自ら選択し活用する能力は十分でない。	・社会的事象に児童自らが主体的に働きかけて学習課題を解決していけるよう学習方法を工夫する。 ・問題解決に向けて資料を活用して学習に生かす力を伸ばすための工夫をする。	図工	・造形活動に興味関心がある児童が多く意欲的に取り組める。 ・今後新しい道具や材料の扱いなど体験し、正しく安全に使う力を身に付ける。	学習に集中できるように教室内の整備に心がける。道具の扱いなど十分に時間をかけて身に付けさせる。使用の都度、全員で注意事項の確認をする。
算数	・かけ算では、九九のまだ不十分な子もいる。割り算では一桁で割るところまでの学習なのでまだ、大きく差はでないが、0を含む問題など少し難しくなると、個人差がでる。 ・各演算では、意味理解が不十分な子もまだいる。	・習熟度別の少人数学習で児童の学ぶ意欲を高める工夫をするとともに、一人一人に達成感をもたせるようにする。 ・学習内容の確実な定着のために、児童個々の状況に沿ってきめ細かく指導する。 ・繰り返し学習を行うことで、計算力を高める。 ・分かりやすい指導を工夫して応用力を高める。	家庭		
理科	・観察カードを作り、動植物の観察に力を入れ学習を進める。 ・器具や用具を使う実験は、非常に意欲的に取り組んでた。しかし、使い方は、不確かな部分もある。 ・実験結果から何が分かるかをまとめるのは苦手である。	・自然体験活動を通して、自然の事物・現象に多く触れることで、科学的な見方や考え方を養う。 ・実験、観察に必要な器具・用具類を整備して、児童一人一人が実験・観察を行うことができるようにする。	体育	・全般的には、体育をすることは好んでおり、意欲的に取り組んでいる。 ・「できる」ようになるだけでなく、どうしたらうまくなるのかが「わかる」よう授業を進めていく必要がある。	・運動が苦手な児童も意欲的に学習できるような教材を工夫する。 ・どうしたらうまくできるようになるのかを、言葉としてはっきりさせることにより、児童間の教え合いが成立出来るようにする。 ・基礎的な動きを、繰り返し学習させる。
生活			総合的な学習の時間	・地域の老人会と、スポーツを通じ交流し感謝の気持ちを手紙に託した。 ・パソコン操作を学習する前に、ローマ字学習をした。 ・調べ学習をするときに、パソコンを活用した。	・老人会との交流し地域に根ざした教材を充実する。 ・各学年の学習課題やめあてを、学校全体として、明確にし、とうごうしていく。 ・教育機器の効率的な利用の為、校内研修を行う。

その他（道徳・特別活動等）

- ・集会や行事等での、たてわり班活動をさらに充実させて、児童間のたてのつながりを深める。
- ・児童の心を揺さぶる教材での学習を通して、児童が自ら考え実践するきっかけを多く与える。
- ・学習の中に友達の考えを聞いたり、話し合ったりする機会を多くもって、心豊かに学習できるようにする。

教科等の現状と課題及び授業の改善点

(第5学年)

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	・音読を好む児童は多く見られるが、一つ一つの言葉を意識して読むという習慣は薄い。また文章を書くことに苦手意識を持つ児童が多い。	・物語文や説明文の授業に音読や暗唱を取り入れて楽しく読む。 ・読んでもらう相手を意識して作文を書く。 ・一人一人の意見の発表や友達との意見交換の機会を増やし、話す力・聞く力をつける。	音楽	・いろいろな歌唱曲を楽しむ児童が多い。 ・リコーダーでは、技術面での差が大きい。	・音楽の楽しさ、ハーモニーの美しさを感じ、表現に生かせるように基礎・基本を学ばせる。 ・仲間と共に、表現する喜びを味わわせる。 ・個々に応じた指導により、能力差を少なくし、共に音楽活動に参加できるようにする。
社会	・児童が社会的事象に対し、興味関心が薄い傾向が見られる。そのために、自ら進んで学習に取り組めず、学習内容の暗記型学習に陥りやすい。	・農業の実態、公害病など、新聞やニュース等の記事をリアルタイムに授業に反映させ、児童の興味関心に訴える授業をめざす。 ・はじめに知識ありきではなく、資料を活用する場面を増やし、資料から事実を読み取っていく力を養う。	図工	・全体的に、表現する活動を好む児童が多い。技術面で、個々の児童にかなりの差がある。	・お互いの多様な表現を認め合い、楽しめる豊かな情操を育みたい。 ・技術的なこつ、つまずきやすいことを毎回確認し、豊かな表現力を身に付けさせる。 ・作業内容、時間にゆとりを持たせ、全ての児童が作品を完成させられるようにする。
算数	・少人数学習であっても、学習内容の理解するための時間は個々の児童によってかなり大きな差がある。そのため、児童によっては、習熟するための演習量がまだまだ少ない。	・少人数学習で児童の学ぶ意欲を高める工夫をし、一人一人に達成感をもたせるようにする。 ・個々の状況に沿ってきめ細かく指導し、計算力や応用力を高める。	家庭	・調理や製作に関心と興味があり、意欲的に学習している。 ・生活経験の差により、家庭生に対する考え方に大きな差がある。	・実習をしながら無理なく衣食住の学習ができるように授業を工夫する。 ・家庭生活の心情的な面について学習する機会を多く持つ。
理科	・実験や観察を好む児童は多い。しかし、有効な観察学習が成立しづらい。経験的に学ぶのではなく、知識理解学習に陥りやすい。授業準備の時間を生み出していくことが課題である。	・自然体験活動を通し、自然の事物・現象にふれ、科学的な見方・考え方を養う。 ・実験・観察に必要な器具・用具を整備し、児童一人一人が実験・観察を行うことができるようにする。	体育	・体を動かすことが好きな児童が多い。 ・児童によって、出来る運動に偏りやばらつきが見られる。 ・遊びの経験が少ない。	・運動のながてな児童も意欲的に学習できるよう、教材を工夫する。 ・基本の運動技術を習得させ、運動の楽しさを経験させ、運動量が多くなるよう配慮する。
生活			総合的な学習の時間	・児童がいきいきと活動する場面が多く見られた。稲の学習では、社会科の学習とも関連付けをして学習に取り組めた。学芸会の取り組みでも、他教科と関連づけて児童の豊かな発達を目指したい。	・稲の学習、多摩美との交流など、地域に根ざした教材の開発と充実に取り組む。 ・学芸会に向け、学年一丸となって取り組みを進め、1つの作品を作り上げる楽しさ・充実感を体験させる。

その他（道徳・特別活動等）

- ・集会や行事でのたてわり班活動を充実させ、児童間の縦のつながりを深める。
- ・道徳では、友達の考えを聞いたり、話し合ったりする機会を多く持ち、心豊かな生活を作る力とする。

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・読解力や文章表現力を今以上に高めたい。 ・自分の考えをはっきりと、まとめて話す力を伸ばしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉一つ一つの意味を意識しながら、読んだり書いたりできるように、指導する。 ・自分の考えを整理する時間を設けた上で、発表の場を用意する。児童相互の評価も加えていく。 	音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱より器楽を好む児童が多いが、技術、心情面で差が大きい。 ・行事との関係で、全体指導になりがちである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた指導をはかり、児童自ら考え、感じた思いをを音に生かす教材の工夫をする。 ・仲間と共に音楽をつくり楽しむ過程に重点を置いた場の設定をする。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史への興味・関心は高まっている。さらに踏み込んで考察する姿勢を引き出したい。 ・歴史の流れを把握できるようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・单元ごとに、追究する視点を提示し、資料集を活用して、時代背景や人物についてさらに理解を深められるようにする。 ・授業中、年表に立ち返る場面を設ける 	図工	<ul style="list-style-type: none"> ・表現力など個々の差がある。 ・工作などには好んで活動しているが、生活の中でいろいろな作品にふれる環境が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術作品などの写真やポスターなどできるだけ多く教室内に掲示したり、他の作品にふれる機会を増やす。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの考え方だけでなく、様々な方法で問題を解決できる力を育てたい。 ・既習事項を忘れがち。確実に身につけさせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公式を導いていく作業や児童間の相談を行い、様々な解き方を見つけていく。 ・既習事項を反復練習出来るように、各種の問題を用意し、活用する 	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・健康的な生活について関心をもっている児童が多い。 ・家庭生活の向上について意識をもたせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食物の知識や時間の使い方、又、エコロジーについても意欲的に学習できるように学習の内容と方法を工夫する。 ・特に心情的な面について学習する機会を多くもち、精神的な成長を援助する。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・実験に臨むにあたり、仮説をもてるようにしたい。 ・実験器具、薬品への安全意識を高めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を用いて考える視点が持てるよう指導していく。 ・道具、薬品に対する正しい知識と起こりうる事故について、伝えることで意識を高める。 	体育	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の課題と、友達の課題を共有化することで、互いに力を伸ばせるようにしたい。 ・運動量を今以上に増やしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループを設定し、その中で助言しあいながら技術向上を目指せる教材を工夫する。 ・道具やコートを増やしたり、準備にかかる行動を迅速にすることを呼びかける。
生活			総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・興味、関心で終わらせることなく、表現力や探求心を養いたい。 ・他者への理解がより深まる活動にしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組みの成果をレポートや感想文などの形に残すことで、テーマへのより深い関わりを引き出していく。 ・現在継続中の他校(園)との交流を内容的に発展させていく。

その他(道徳・特別活動等)

- ・道徳では、主として他との関わりについて考える機会を多く設定していく。互いに認め会える雰囲気、認め合おうという意識が日常生活の安定、落ち着いた学習への取り組みにつながっていくものとする。
- ・たてわり班活動においては、事前の準備や心構えを作るための場を設けていく。下級生も6年生も、ともに充実した時間を過ごすことで、6年生が意識を高めていけると期待できる。